

# 展開方針 (案)

## 職場編



## 令和4年度「ごみゼロやまがた県民運動」

- 本県の「1人1日当たりのごみ排出量（令和元年度）」は922gで、少ない方から全国20位です。最も少ない長野県の816gより、約100g多い状況です。
- 全国一ごみの少ない県を目指し、まずは1人1日当たり100gごみ（分量例：ミスコピー用紙25枚（A4判）、おにぎり1個）を減らすために、職場全体で積極的に取り組みましょう。
- ESG（環境、社会、企業統治）に配慮している企業が重視・選択される時代です。企業が持続的に成長し続けるためにもESGを考慮した活動が重要です。

### 適切な分別で、プラごみ・紙ごみの削減！



県ホームページ  
「プラスチックごみ削減」

#### リデュース（ごみを出さない）

- 事務用品等の在庫管理を徹底し、**休眠物品**を使用
- インクなどが**交換・補充**できるボールペン等を購入
- 紙の使用は最小限に（PC画面の確認で印刷省略など）。
- 不要なスプーン、ストロー等の**使い捨てプラスチック製品**はできるだけ**辞退**

#### Carbon Neutral Challenge ～プラごみを減らそう～



環境省ホームページ  
「プラスチック資源循環法」

#### リサイクル（再生利用）

- ペットボトルや食品等付着のない容器包装（テイクアウト容器は軽く洗う）等の**適切な分別**を徹底

#### リユース（繰り返し使う）

- マイボトル・マイカップ**（水筒、タンブラー、マグカップ等）や**マイ箸・マイスプーン**等を使用



ごみゼロやまがた県民運動  
キャラクター  
「ごみゼロくん」



### おいしく残さず食べきりで食品ロス削減！



県ホームページ  
「食品ロス削減」

- 懇親会では、**3010運動**（開始後30分、お開き前10分は席を立たずに料理を楽しんで食べきる運動）でおいしく残さず食べきり
- 残った料理は、お店に相談して、**自宅に持ち帰り**

- 食品ロス削減等に取り組む「**もったいない山形協力店**」を積極的に利用

- 家庭で余った食品は、**フードバンク**などへ寄付
- 職場で家庭の未利用食品を集める「**フードドライブ**」を実施

### 環境配慮製品の優先購入！

- エコマーク商品**や**山形県リサイクル認定製品**を優先して購入



エコマーク



山形県リサイクル製品認定マーク



#### 《 出前講座の案内 》

ごみの減量、食品ロス削減などの社内研修等でご活用ください。

《お問い合わせ先》  
県環境科学研究センター  
TEL 0237-52-3132



Carbon Neutral Challenge  
～環境を守るのは県民一人ひとり～

### ごみゼロやまがた推進県民会議

お問い合わせ 山形県環境エネルギー部循環型社会推進課 TEL 023-630-2322